

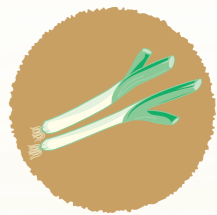


ジャガイモ

山武経済センター
営農指導員 小関 和彦

農業 テクニカル ダイアリー

Agricultural - work technical diary



秋冬ネギ

成東経済センター
営農指導員 宇井 文英

植え付け準備

種イモが届いたら、ムレや腐敗を防ぐため、できるだけ速やかに開封してイモを拡げ、中身を確認してください。本年の種イモは、昨年8月の台風の影響などにより、生育途中にストレスがかかり、水分含有量が多いので、保管・管理を例年以上に気を付けてください。傷み、変色、腐敗を発見したら、すぐに取り出して4〜5℃の通気の良いところに保管しましょう。また、浴光催芽で欠株防止、生育のばらつきを防止しましょう。浴光催芽は品種により異なりますが、20日ぐらい必要です。

種イモはコンテナに入れ、日中温度が25℃以上にならないように温度管理しましょう。夜間は温度が下がるので、凍結しないように注意してください。

催芽が完了した種イモは、一片の重さが40g前後で2〜3個の芽がつくように切断し、2日程度陰干ししましょう(図①)。また、黒あざ病予防のため、種イモはバリダシン粉剤DLを種イモ重量の0.3%粉衣処理しましょう。

圃場の準備および植え付け

土壌PHの高いところ(6.5以上)

ネギ黒腐菌核病の対策

黒腐菌核病は難防除病害の1つで、糸状菌(カビ)が原因で起こる病気です(写真①)。晩秋から春先にかけて気温が10〜15℃の寒い時期に発病し、次第に葉全体が黄白色に枯れ、株が萎凋(しおれ)します。根が腐敗しているため簡単に抜けてしまい、最終的には全く無くなってしまいます。特に年明けに病害の進行が早まります。蔓延すると、産地の今後にも影響を及ぼします。必ず各圃場の発生有無を確認し、対策を行ってください。

①連作を避ける
黒腐菌核病発生の主な原因は連作です。まずは、連作を避けましょう。

②土壌診断をする
黒腐菌核病は、土壌PH6.7〜7.5に維持することで発病が弱まります。

③土壌消毒剤を使用する
土壌消毒の効果を高めるため、必ず被覆を行います。また、発生圃場で使用したトラクター等は必ず洗浄し、他の圃場への感染を防ぎましょう。消毒剤を使用する際は、農薬の表示ラベルを確認し、使用基準を遵守してください(表①参照)。

④緑肥を行う
連作を避けて緑肥を播き、「土づくりに実践し、土壌病害の発生を抑制しましょう(表②参照)。

では作付けを控えるか、石灰質肥料を控えましょう。施肥例は表④を参考にしてください。「畑のカルシウム」は、品質向上、増収効果を目的とした土壌改良資材で、PHの高い圃場でもPHを変化させずにカルシウムを補給できるので、おすすめ石灰資材です。

植え付け前

には、ネキリムシ類の防除として、ダイアジノン粒剤5を10坪当たり6g施用します。

植え付け

は畝幅90cm、株間25〜30cm、深さ10cm程度とし、覆土のかけすぎに注意してください。雑草の発生が多い圃場は、植え付け後に除草剤(ゴーゴーサン乳剤)を散布しましょう。

図① 種イモの切り方

小菌核腐敗病(縦割れ症)の対策

縦割れ症と呼ばれる小菌核腐敗病も難防除病害の1つで、糸状菌(カビ)によつて引き起こる病気です。気温が10〜15℃の冷涼な時期に降雨が続くと発生が多くなります。現在出荷中の秋冬ネギや今後出荷を迎える春ネギにおいて注意が必要です。

この病気は、白身の表面に黒色で、楕円形〜不整形で盛り上がった菌核を多数形成します。病斑を中心に縦に亀裂(縦割れ)が入り、内葉が突出するために商品価値を著しく低下させます。

●防除対策

①発生圃場での連作を避ける。
②発生圃場の土壌消毒を行う。
③多肥栽培は避ける。

なお、発病の恐れがある場合は、土寄せ前に薬剤を使用し、防除を行ってください(表③参照)。

写真① 黒腐菌核病

11月の分析経過について

合計6点	
残留農薬分析点数	多成分一斉分析
	秋冬ニンジン 1点
	秋冬ニンジン 2点
	(ちばエコ)
	ニラ 1点
	ニンジン 1点
(インショップ)	
サトイモ 1点	
(インショップ)	

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壌診断点数 合計20点

表④ ジャガイモの施肥量の目安

肥料名	成分	施用量
マルチサポート2号	微量元素	60kg
苦土重焼燐	0-35-0	40kg
さんぶジシアン有機特806	8-10-6	200kg

表① 黒腐菌核病の土壌消毒剤

薬剤名	使用量(10aあたり)	使用時期	使用回数
バスアミド微粒剤	30~60kg	播種または定植14日前まで	1回
ディ・トラペックス油剤	30~40L	播種または植付14日前まで	1回

表③ 小菌核腐敗病に登録のある薬剤

効果	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
予防・治療	ポリペリン水和剤	1,500倍	14日前	3回まで
予防・治療	スミレックス水和剤	1,000倍	21日前	3回まで
予防	ロブラール水和剤	1000~1500倍	14日前	3回まで
予防・治療	トップジンM粉剤DL	9kg/10a	7日前	3回まで
予防	セイビアフロアブル20	1,000倍	前日	3回まで

表② 緑肥の種類と播種量・播種適期

植物名	主な品種	播種量(10aあたり)	播種適期
カラシナ*	キカラシ	播種:1~2kg	3~4月
	いぶし菜		10月中旬~下旬
エンバク	ハイオーツ	条播:4~6kg	8~9月下旬
	オーツワン		10月下旬から11月中旬
ハゼリソウ	ニューオーツ	散播:10~15kg	3月下旬~5月上旬
	アンジェリア	散播:2~3kg	2月下旬~4月下旬

※カラシナ...茎葉にバスアミドと同類の成分を含む緑肥。